

(別紙様式)

都道府県番号	24
都道府県名	三重県

()

該当する観点にチェックをすること

・学校の概要(平成14年4月現在)

松阪市立東部中学校							
	1年	2年	3年	「障害」児学級	計	教員数	
学級数	5	4	5	1	15	28	
生徒数	169	141	184	1	494		

・実践研究の概要

1. 主題(テーマ)

互いにみがきあい、高まる生徒づくり
—よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり—

2. 内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年、全教科、全領域で実施している。

「学力」とは、生徒一人一人が、目標をもって生きるための力である。

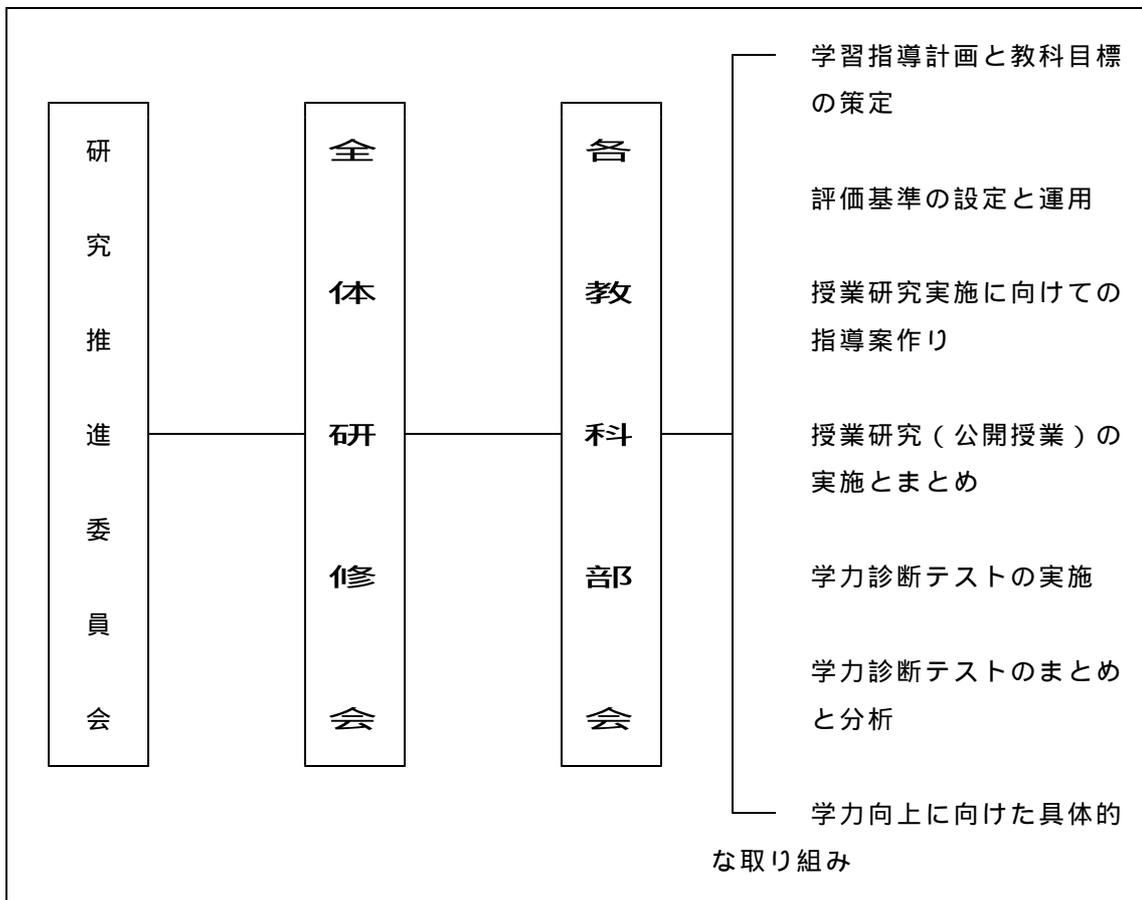
本校では、昨年まで生活課題をかかえる生徒「核にしたい生徒」を中心に据えた学級集団づくりの取り組みを研修の大きな柱として推進してきた。

これまでの「人権・同和教育」の取り組みの経緯や成果を生かし、全学年、全教科、全領域において、集団づくりをもとにした授業づくりの実践を推進し、生徒の学びを保障する研究に取り組んでいる。

(2) 年次計画

平成 14 年 度	<p>テーマ 「互いにみがきあい、高まる生徒づくり —— よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり」</p> <p>仮説 生徒の学習意欲や関心を高めるため、年間指導計画（カリキュラム）や学習指導案、評価基準表を作成し、これまでの授業内容や指導方法を見直す。</p> <p>研究内容・方法 年間指導計画（カリキュラム）、学習指導案、評価基準表を作成する。 「学力」について議論し、本校の目指す「学力」について共通認識を深める。 各教科で、学力向上に向けた具体的な取り組みを始める。 全ての教科で、授業研究や公開授業を実施する。 他校の研究発表会に参加する等して、先進校での取り組みに学び、授業実践に役立てる。</p>
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 研究体制



・平成14年度の成果と課題

成果

「朝の10分間読書」を実施して、読書の習慣を身につけることができた。
先進校視察や研究発表会に参加し、進んだ取り組みから学ぶことができた。
計画的に公開授業を実施し、授業研究に取り組むことができた。
年間指導計画（カリキュラム）、評価基準表を作成し、それに基づいて学力向上に向けての具体的な取り組みを始めることができた。
全校生徒対象に「学校生活に関するアンケート」と学力調査「CRT」を実施して、生徒の実態や現状を客観的に把握することができた。

課題

全ての教科で、計画通りに公開授業を実施することができなかった。
数学と英語において、TTや分割授業に取り組んでいるが、一部の学年のみで、教師の人数不足のため、全ての学年で実施することができなかった。
学習指導案の作成、教材研究等が十分できず、必ずしも充実した授業ができなかった。

・学力把握のための学校の取り組みについて

学力調査（CRT）を実施している。

「学校生活に関するアンケート」を実施し、生徒の学習に対する意識や実態を把握している。

・フロンティアスクールとしての成果の普及について

・研究会、説明会等の開催予定については、検討中であり未定。

・HP作成についても検討中。